

フェアストン錠について

□ フェアストン錠 (Fareston tablets)

商品名：フェアストン錠 40

成分名：トレミフェンクエン酸塩 (Toremifene Citrate)



□ フェアストンの内服開始にあたって

フェアストンはホルモン剤で、長期間内服していくことの多い薬です。内服を継続することが重要なので、医師の指示に従い、決して自己判断で中止しないようにしましょう。今後治療を継続していく上で、このお薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。薬のことをよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢せず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

□ がん細胞に対するフェアストンのはたらき

乳がんの中には、女性ホルモン（エストロゲン）の働きにより増殖する『ホルモン感受性乳がん』があります。ホルモン感受性乳がんは、エストロゲンを“エサ”にして増えるため、エサのエストロゲンを取り込むための口（エストロゲン受容体）を持っています。

フェアストンは、そのエストロゲンを取り込むための口を塞ぐことで、がん細胞の増殖を抑える薬です。

□ 服用上の注意

- ・毎日大体同じ時刻に内服してください（医師の指示通り）。
- ・飲み忘れた場合はその分はとばし、次回 1 回分を内服してください。2 回分を一度に飲まないでください。

□ 副作用とその対策 気になる症状があれば伝えてください

ほとんど出ることはないが、特に注意が必要なもの

- ・この薬によって、子宮内膜の異常などが現れることがあります。定期的な婦人科受診を行いましょう。不規則な性器出血や血液が混ざった膣分泌物などがある場合には、直ちに受診をしてください。

その他の副作用

- ・ホットフラッシュ
更年期症状としてよく知られるホットフラッシュの症状が出る場合があります。具体的な症状としては、突然かっと暑くなったり、汗をかいたり、胸から顔面にかけて赤くなったりします。動悸や不安、睡眠障害などを伴うこともあります。このような症状は次第に軽減することが多いので心配せずしばらく経過をみるのがよいでしょう。

□ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。他の方が誤って飲むことがないように注意してください。

この説明書は、『患者さんのための乳癌診療ガイドライン』を参考に作成してあります。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111 (代表)

《 医療機関の方々へ がん薬物療法に関するご説明・同意取得済みです 》

